

きもちのいい家づくりたい

環境の世紀21世紀にふさわしい住まいづくりをテーマとして、古民家再生工事を進めてまいりました「遠家の家」が完成しました。お施様のご厚意により、完成内覧会を開催させていただきます。

10/23日・24日 午前10時～午後5時

お問合せ <http://yumekikou-happy.com/>

土壁 佐賀

検索

又は 子どもたちの喜ぶ家

検索



0120-835-832



古民家再生 子どもたちとともに育つ家 「遠家の家完成内覧会」

子どもたちの喜ぶ家は自然素材で仕上げた住まいです。
2階には優美な梁組みがあり、伝統的構法を楽しめます。



子どもたちの喜ぶ家は
おじいちゃんもおばあちゃんも
ゆっつら～としてよかよ～
ひまばつくってきてくんしゃい



自然素材は写真等で見るより
自らがふれることによりその良さが体感できます。

おかげさまで

「古民家再生 子どもたちが喜ぶ家」

NPO 木の建築フォーラム主催

“第6回 木の建築賞”

「蔵出しめんたい本舗 弥生が丘店」・「漬物処 鶴屋」

NPO 日本民家再生協会主催

“2010年度 民家再生奨励賞” をいただくことができました。

この家の施工にあたり、近隣の住民の皆様には、多大な迷惑をおかけしていることを、おわび致しますとともにご協力に感謝いたします。また、施工に携わっていただいた、前田棟梁、前山棟梁をはじめ多くの工匠の方々のご協力に感謝いたします。

住まい人の想い(お客様の声) 五感で感じる住まい
子どもたちに遺すものは 裏面に記載

数少ない古民家の見学会です。

- 子どもが喜ぶ住まいづくりを実感されたい方。
- 住宅メーカーの契約はまだけど、もう契約寸前の方。
- たくさんの住宅展示場を見学したが、いまいち納得できない方。
- 家づくりなんて、まだまだ先のことだけれども、いつか家を造るときのために、見ておきたい方。
- 既に仮契約済だけれど、「これでいいのかなあ」なんだか不安を感じている方。
- 古民家に住んでいるけれど、改装例を見たい方。興味がある方。
- 既製品でない、手造りの「こちよい家」で暮らしたいと思っている方。

あの時、あのチラシの見学会を見ておけば良かったと、後悔する前に(実際、そのような方がいらっしゃって、残念がっていましたから…)

この機会を是非お見逃しなく！！

技術者ばかりで営業マンがおりませんので、対応にご迷惑をお掛けすることがあると思いますが、ご容赦くださいませ。資料の御請求やお住まいのご相談は、どのような小さなことでもご相談いただければ対応いたします。お電話やメールでお願いいたします。

設計・施工 (有) 夢木香

〒849-1315 佐賀県鹿島市大字三河内甲 2847
TEL0954-69-8333 FAX0954-69-8334
フリーダイヤル 0120-835-832
eメール yumekikou@globe.ocn.ne.jp
HPアドレス 日本民家協会正会員

●エコパウダー代理店 シロアリ相談賜ります
エコボロン佐賀夢木香 TEL0954-69-0698
安全(ホウ素系木材保存剤)で半永久的に効果が持続する
次世代の防腐防蟻剤施工
㈱エコパウダーHP <http://ecopowder.com/>

第四回夢木香セミナー

日時:22年10月31日(日)13:30~15:30

場所:佐賀市交流センター佐賀市白山2-7-1

エスプラッツ3F

「失敗しないための古民家再生&リフォーム」

古民家再生士 松尾進

お問い合わせ・お申込み先:(有)夢木香まで

☎0120-835-832 <http://www.yumekikou-happy.com>

きもちのいい家づくりたい

環境の世紀21世紀にふさわしい住まいづくりをテーマとして、古民家再生工事を進めてまいりました「白石の家」が完成しました。お施様のご厚意により、完成内覧会を開催させていただきます。

10/23日・24日 午前10時～午後5時

お問合せ <http://yumekikou-happy.com/>

土壁 佐賀

検索

又は 子どもの喜ぶ家

検索

☎

0120-835-832



(古民家再生)

子どもたちとともに育つ家

「白石の家完成内覧会」

子どもたちの喜ぶ家は自然素材で仕上げた住まいです。
2階には優美な梁組みがあり、伝統的構法を楽しめます。



子どもたちの喜ぶ家は
おじいちゃんもおばあちゃんも
ゆっつら～としてよかよ～
ひまばつくてきてくんしゃい



自然素材は写真等で見るより
自らがふれることによりその良さが体感できます。

おかげさまで

「古民家再生 子どもたちが喜ぶ家」

NPO 木の建築フォーラム主催

“第6回 木の建築賞”

をいただくことができました。

この家の施工にあたり、近隣の住民の皆様には、多大な迷惑をおかけしていることを、おわび致しますとともにご協力に感謝いたします。

また、施工に携わっていただいた、山崎棟梁、前山棟梁をはじめ多くの工匠の方々のご協力に感謝いたします。

住まい人の想い(お客様の声) 五感で感じる住まい
子どもたちに遺すものは 裏面に記載

数少ない古民家の見学会です。

- 子どもが喜ぶ住まいづくりを実感されたい方。
- 住宅メーカーの契約はまだだけど、もう契約寸前の方。
- たくさんの住宅展示場を見学したが、いまいち納得できない方。
- 家づくりなんて、まだまだ先のことだけれども、いつか家を造るときのために、見ておきたい方。
- 既に仮契約済だけれど、「これでいいのかなあ」なんだか不安を感じている方。
- 古民家に住んでいるけれど、改装例を見たい方。興味がある方。
- 既製品でない、手造りの「こちよい家」で暮らしたいと思っている方。

あの時、あのチラシの見学会を見ておけば良かったと、後悔する前に(実際、そのような方がいらっしゃって、残念がっていましたから…)

この機会を是非お見逃しなく！！

技術者ばかりで営業マンがおりませんので、対応にご迷惑をお掛けすることがあると思いますが、ご容赦くださいませ。資料の御請求やお住まいのご相談は、どのような小さなことでもご相談いただければ対応いたします。お電話やメールでお願いいたします。

佐賀の古民家に学ぶ会

佐賀県には、耐久性をそなえ、地元産木材を多用し、人と環境にやさしい土壁の古民家が数多く存在します。

また、街の景観維持にも寄与しています。

古民家に学ぶことにより、佐賀県産の木材、竹、土などの資源を多用した、環境の世紀21世紀にふさわしい、住まいづくりを提案推進します。

設計・施工 (有) 夢木香

〒849-1315 佐賀県鹿島市大字三河内甲 2847
TEL0954-69-8333 FAX0954-69-8334
フリーダイヤル 0120-835-832
eメール yumekikou@globe.ocn.ne.jp
HPアドレス 日本民家協会正会員

●エコパウダー代理店 シロアリ相談賜ります
エコボロン佐賀夢木香 TEL0954-69-0698
安全(ホウ素系木材保存剤)で半永久的に効果が持続する
次世代の防腐防蟻剤施工
㈱エコパウダーHP <http://ecopowder.com/>

第四回夢木香セミナー

日時:22年10月31日(日)13:30~15:30

場所:佐賀市交流センター佐賀市白山2-7-1

エスプラッツ3F

「失敗しないための古民家再生&リフォーム」

古民家再生士 松尾進

お問い合わせ・お申込み先:(有)夢木香まで

☎0120-835-832 <http://www.yumekikou-happy.com>

古民家に学ぶこと

夢木香の住まいづくり

夢木香は自然素材にこだわり施工します。素材は身近にありますが、施工するためには職人の技術が必要です。木や竹や土や紙や藁を、大工、左官、瓦、建具、畳職人たちが力を合わせ仕上げてゆきます。

古民家の再生を手がけることにより、昔の職人たちと会話ができます。力強さと優美さを兼ねそなえた丸太の木組み、落ちついた風合いのいぶし瓦、漆喰の美しさと、そり壁の優美な曲線、繊細な、透かし彫りの欄間や組子など、いたるところに昔の職人の心意気が感じられます。その技術を伝承し、次世代に伝えてゆくことが大切だと感じます。古民家の再生に学び、その技術と思想を、新築やリフォームにいかしてゆくことが、私たちのつとめだと考えます。

本当のエコ住宅とは

近年、エコ住宅をうたいもんに、高気密高断熱がさかんにとなえられています。通気を遮断し、吸湿性のないビニールクロスの家が多く見受けられます。結露が発生しやすく、カビの原因をつくり、カビがダニを呼び、ダニの死骸がアレルギーを誘発します。それを選けるためには、エアコンや換気扇あるいは除湿機や加湿器や空気清浄機が必要です。つまり、設備機器を効率よく使うための工法です。設備機器がなかった時代に造られた古民家には、機械をつかわない工夫があります。呼吸する自然素材がふんだんにつかわれ、梅雨や夏の暑さをしのぐ知恵があります。寒さに対して、適度な気密と断熱をとれば、暮らしやすい住まいになります。本当のエコとは設備機器をできるだけつかわない住まいだと考えます。

200年住宅

ようやく住宅の耐久性が見直されてきました。日本の住宅の寿命は30年です。30年では木が循環していきません。木材の80%を輸入し、30年の住宅寿命しかない住宅しか造られていないのが現状です。技術がないわけではありません。日本には100年～200年の住宅、200年～500年の寺社仏閣は数多く存在します。自然の実物大実験を経た伝統的構法には学ぶべきものがあります。台風が襲来し、地震が多く、梅雨がある過酷な建築条件の中で耐えてきた古民家に学び、新築やリフォームも、家づくりは子や孫たちのためにとの思想を取り戻したいと考えます。

五感で感じる住まい

今、この季節、さわやかさを感じてほしい、木と土壁がもつ調湿作用で、本物の自然素材のにおいを、木の香りと漆喰や畳のにおいで、肌にあふれるこちよさを、無垢の床板をはだして歩いてください。キッチンも洗面も浴室も無垢材の手造りです。見て楽しんでください、伝統的な木組みと、骨太の木組みが持つ安心感を。耳を澄ましてください、響かない音を、木や土は音を吸収します。適度な反響、なぜなら多くの楽器は木製です。今、まわりの環境は、無機質な物、人工的な物に変わりつつあります。せめて家の中だけでも、こちよ空間がほしいものです。子どもたちに自然のハーモニーを聴かせてあげたいものです。

住まい人の想い

人間が家をつくるが 家は人間をつくる (イギリス元首相 チャーチル)

長崎街道八戸の家 佐賀市井手様 再生工事 井手邸の再生

棟梁(建築士)松尾さんの事

古民家再生の専門家松尾進さんは数々の古民家の移築再生を手がけ情熱を燃やす研究も怠らない。松尾さんは「百年もてた家は手を加えれば百年はもつ」と言う。その言葉に心を動かされ井手邸再生を決意。

古き家は 手を加ふれば これからも 木を信じ 木を知り尽くす 棟梁に 託せし生家は 甦りくる 再生に 賭くる頭(かしら)の 情熱は 夢とロマンに 満ち満ちてをり

古民家に 思ひを馳する 棟梁の 興味溢るる 話楽しき

松尾さんの愛弟子和田恵理子さんのこと

和田さんは国立大学工学部建築科を卒業、一級建築士の資格を持つ。親元の大分を離れ佐賀県鹿島の師匠の松尾さんに師事する可愛い娘さん。

古民家再生の達人・職人さん達のこと

古き家に 魅せられ師につき 資格とり 匠を目指す 親元離れ 大学で 建築学びて 若き乙女の 修業する

古民家再生の達人・職人さん達のこと

2009年 民家再生奨励賞

唐津蔵の家 唐津市N様 再生工事

早いもので、この家を再生してもらってもう6年が過ぎた。古家があって、住むことに決め、それからまったく家作りの知識も予定もなかった私が民家再生の方々に引張られて再建の覚悟をした7年前。当時住んでいた札幌から毎月のように福岡の実家に飛んで工務店の社長さん(一生ものの恩人!)設計士さん(真っ先に声をかけてチャンスをくださった恩人)、現場の方々と話し合いながらほんとうに家ができていくのを見るのは感動だった。

出来上がった当初は水周り、トイレなどにはしっかり私カラーをいれてもらったものの、雑誌で見るような実にすっきりした和の家。整理整頓掃除の苦手な私にはもったいない美しさ。

けれど、今までと変わらない家具が入り、道具が入り、生活していくうちに、やっぱり私流の雑然とした住まいになっていった。マンション暮らしが長いので(言い訳に過ぎないか)、家の手入れなどもよくわからず、一軒家を持つというイメージがそれまでなかったので戸惑ったところもあるけれど。

今の暮らし? 最高!!! はじめから何の違和感もなく安心してすーっと受け入れてくれた蔵の家、昔住んでいた叔母叔父祖父母曾祖母そのほかたくさんの人たちの思いに加え、私たちをもきっと包み込んでくれているのだと思う。

自然素材の日本家屋は外とつながっている感じがなんとも心地よい。リビングから見る庭は当初目が痛かった砂地はすっかり緑におおわれ、(芝生ではない、いわゆる雑草)ネコよけのネットを張ったカメの日光浴コーナーではカメたちがのんびり。植物もだんだん増えて季節ごとの花が楽しめる。葉もまかず、草取りもたまにのワイルドな虫の天国、害虫も多いけど美しい蝶などの虫、鳥もコウモリも来てくれる。(ウチ子するノラ猫は困るけど)室内には散歩の海でくつろいで飼っている水槽の魚たち、ヤドカリ、エビ、貝、イソギンチャクなど小さな生き物たち。

庭や水槽を眺めながらの毎日は、あー、みなさん、コメンナサイ、幸せです!

心をこめて造ってくださった皆さんには感謝感謝!

花見が浜の蔵 福岡県福津市 三原様 移築再生

土壁と木の温もりに囲まれて～再生古民家に住んでみて

- 建物**

私の家は、佐賀県七山村より納屋兼牛舎として使用していた蔵を、牛棗や敷石をそのまま再利用し、住宅として新たな命を吹き込んで再生させた土壁の家です。土壁は竹小舞に荒塗り、中塗り、上塗り、漆喰と何層にもなっていて約22センチ程の厚みがあります。
- 空気**

すっしりと重厚感で鎮座する玄関の蔵戸。その横には迫力満点の江戸中期の鬼瓦(享保7年)が訪れる方を出迎えます。その戸を開け中に入るとまず「空気」の違いが分かります。木の香りだけでなく、表現しにくいのですが日本人が本来持つ「和」のDNAが刺激されるとでも言うべき土壁の凜とした空気に包まれます。訪れた人たち(集金や配達員を含む)は例外なく皆「凄いですね…」と感嘆の声をあげられます。
- 床**

床は厚さ40ミリの無垢材を使用しており、とても気持ちがよく歩きたびに木の温もりを感じます。又、時間とともに移りゆく自然の色調や質感、或いは傷でさえそれら全てが歴史を刻む斬新なデザインとして飽くことのない空間を演出し続けます。
- 新しいものとの調和(現代風にアレンジを加える)**

元来妻との興味なものに興味があったこともあり、ただ武家屋敷のような「和」のみの雰囲気は嫌がってしまっていたので、照明器具は洋風なものを取り入れたり、壁の色も部屋によって土を混ぜ色合いを変えたりレンガや石などを使って現代風にアレンジを加えたりして和洋が混在している感もあります。ですから訪れる方は年配の方はもちろん、若い方たちからも「素敵ですね」と言ってもらっています。
- 子供達の笑顔**

子供達も元気に家中を走り回り、柱をよじ登ったり、梁にしがみついたりしています。また、薪ストーブや囲炉裏の火も興味を示し何でもしますが、危ないからといって何でも「ダメ」ではなく危険なことをしっかりと教えて危険を認識させたうえで体験させ、注意して見守ってやっています。そうすることで子供も元気にたくましく成長する事が出来ると思っています。遊びに来た子供達も何かそうした自然の力を感じるのか皆笑顔で木の家を体感し、必ず「また遊びに行きたい」と後で母親に言うそうです。
- 循環**

このような家に住んでみて私自身一番気に入っていて、家において本当に心が落ち着きます。民家も木も水もそして人も全て循環の中で生きています。この家はこれからも永くそして力強く大地に踏ん張り、私たちから子供たちへ、子供たちから孫へと受け継がれてゆくことでしょう。
- 出会いと感謝**

このような素晴らしい家づくりに携わってこられたたくさんの方々はこの場をお借りして心よりお礼を申し上げます。無駄口をきかず黙々と仕事をこなす秋月さん(大工の棟梁)。若いのに確実に伝統技術を継承している前山さん(左官職人、土壁)。私たちの無理な注文をいつも快く引き受けて下さった松尾さん(夢木香の社長)。引き渡し後も常に家の不具合はないか心配してくれ何かあれば遠方からすぐに駆けつけてくれました。松尾さんが「一生親せき付き合いをするつもりで家づくりをしていますから…」と笑顔で語ってくれた感動は今でも忘れることが出来ません。本当にありがとうございました。そのほか、この家づくりをめぐって縁あった他の大勢の方々、本当にありがとうございました。

人が住まいをつくり 住まいが人の心をつくる (沖繩の古民家 中村家住宅)